

一身鑿金一鉢、大樹
成、天下、人、与
陰涼、作り、去、ルコト
在、ラン。

第三回 平成二十九年

せんせい

安岡定子

(銀座・寺子屋こども論語塾代表)

大徳寺
龍光院

こどもとおとなの

論語教室

とき

三月十九日(日)

ところ

仙台東照宮

(仙台市青葉区東照宮一丁目六の一)

午前九時開場
呈茶
論語
齋座
坐禅
午後二時閉場

入場無料

寸松塾



「これを知る者は、これを好む者に如かず」

「これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」

「こんなに難しい文章が、

あんな小さなこどもに分かるんですか」

という御質問を多くの親御さんから頂戴する。

勿論、我々の尺度でこれらの論語を

理解しているとは到底思えない。

でもこどもたちはこどもたちの感覚で、これらを我々以上に

吸収、理解しているように思えてならない。

一旦彼らの耳に入った論語の章句たちは、

彼らの遊びに、或いは悪戯に、生活そのものに入り込んでしまう。

それぞれのこどもたちは勝手に独自の論語ワールドを作り上げ、

その中を見事に泳ぎ回るのである。

その自由闊達さは到底大人の及ぶ所ではない。

彼らは論語の一言一句をとらえて離さないのだ。

龍光院住職 小堀月浦



せんせい

安岡定子

やすおかさこ

(銀座・寺子屋こども論語塾代表)

一九六〇年東京生まれ。二松学舎
大学文学部中国文学科卒業。漢学者。
安岡正篤の孫。現在「銀座・寺子屋
こども論語塾」「斯文会・こども論語
塾」「龍光院・寸松塾」をはじめ宮城
県塩竈市、茨城県水戸市、宮崎県都
城市等、全国各地で定例講座は二十
五講座に及び、幼いこどもたちやそ
の保護者に「論語」を講義している。

大徳寺
龍光院
寸松塾



仙台東照宮

仙台市青葉区東照宮一丁目六の一